

様式

毛呂山特別支援学校の活性化・特色化方針 (平成29年度～)

1 学校基本情報

種別	知的障害	学部・ 学科	小・中・高等部	児童 生徒数	(男)100 (女)42	計 142
ホームページ	http://www.moroyo-sh.spec.ed.jp/					
アクセス	東武東上線「坂戸駅」北口からバス<大橋行き> 「苦林」下車 徒歩約15分					
教育課程等 の特徴	・開校27年目の主に知的障害のある児童生徒を対象とした特別支援学校。 ・小中高12年間を見通した系統的な指導(キャリア教育)の充実をすすめている。 ・高等部では生徒の実態や教育的ニーズに合わせ、全体を10程度の学習グループに分けた課題別学習の時間を設定している。					
特色ある 学校行事や 部活動	・児童生徒が活躍する「運動会」、「ゆずの木まつり(文化祭)」が2大行事。 ・宿泊学習、社会体験学習、修学旅行等を通して経験領域の拡大を目指している。 ・高等部、中学部では課外(部)活動を実施。 ・高等部の競技部は特体連陸上大会、水泳記録会、サッカー大会、バスケットボール大会に参加。					
家庭・地域 との連携	・PTA夏まつりの開催や毛呂山町社会福祉協議会イベントへの積極的な参加。 ・関係機関との移行支援会議や就労支援センターとの連携を通じた進路支援。 ・医療機関、市町福祉課、障害者相談支援センター、保健センターとの連携・協力。 ・学区域教育委員会連絡協議会、学区内コーディネーター連絡会の開催。					
進路に ついて	・進路先は企業就労が2～3割、福祉的就労等が7～8割となっています。 【企業就労】サービス業(スーパーマーケット、ゴルフ場)、製造業など 【福祉的就労】坂戸、鶴ヶ島、毛呂山等の福祉施設(作業所) ・原則として卒業後3年間にわたりアフターケアを実施しています。 ・小学部・中学部の生徒は、それぞれ中学部・高等部へ進学しています。					

(児童生徒数:H29.5.1現在、進路はH29.3卒業生の状況)

本校の魅力!

一人一人を大切にする、専門性の高い、児童生徒・保護者・地域と共に生きる、
開かれた信頼される学校

私たちは、一人一人を大切にする指導の充実のために
児童生徒をよく知り、互いに学び合い、「わかる授業」づくり
に取り組んでいます。

- 1 児童生徒の教育的ニーズに応じた指導を充実させています。
- 2 児童・生徒の健康と生命を守る安心安全な学校
づくりを推進しています。
- 3 特別支援教育を担う教員としての専門性を高める
研究・研修を充実させています。
- 4 保護者や地域との積極的な連携と特別支援教育の
センター的機能を発揮します。



ゆずの木まつり(文化祭)ステージ



埼玉県立毛呂山特別支援学校

学校教育目標

明るく 仲よく たくましく

目指す学校像

一人一人を大切にする、専門性の高い、児童生徒・保護者・地域と共に生きる
開かれた信頼される学校

重点目標

- 1 児童生徒の教育的ニーズに応じた指導の充実
- 2 児童・生徒の健康と生命を守る安心安全な学校づくり
- 3 特別支援教育を担う教員としての専門性を高める研究・研修の充実
- 4 保護者や地域との積極的な連携と特別支援教育のセンター的機能の推進

家庭・地域との連携

- PTA活動
- 関係機関と連携した進路支援
- 医療機関・福祉機関との連携・協力
- 学区内コーディネーターとのネットワークの構築
- ボランティアの養成と活用

小学部

- ①基本的な生活習慣を身につけ、生活するための基礎的能力を身につける。
- ②基礎的な運動能力を高め丈夫な体を作る。
- ③物事を認識する力や感覚を身につけるとともに、感情を豊かにする。
- ④人との関わりを通して、より自他を意識できるようにする力を育てる。
- ⑤学校生活全般を通して勤労意欲を育てる。

中学部

- ①基本的な生活習慣の確立をめざす。
- ②いろいろな活動を通して健康の保持増進と体力の向上をめざす。
- ③興味・関心を深め、認識力を高めるとともに、豊かな感情を育む。
- ④人との関わりを広め、友達と一緒に取り組む力を伸ばす。
- ⑤作業学習を通して、働くことへの興味関心を高める。

保護者・地域から信頼される、
開かれた学校づくりを
推進しています

スクールマスコット
「ゆずの木マン」



高等部

- ①基本的な生活習慣を確立し、自立した生活をおくるために必要な力を育む。
- ②健康でバランスの取れた身体づくりと基礎体力の向上をめざす。
- ③認識力を高め、自分で考えようとする意欲と物事に感動する心を育む。
- ④友達や集団との関わりを豊かにするとともに、互に尊重しあい協力できる力をつける。
- ⑤勤労意欲を高めるとともに、卒業後の進路を考える。

研究の取り組み(平成29年度)

全校研究テーマ

ユニバーサルデザインを取り入れた支援・指導

～すべての児童生徒にわかりやすい環境・教材・授業づくり～

小学部の研究テーマ

アセスメント(NCプログラム)を活用した授業づくりの工夫

中学部の研究テーマ

アセスメントに基づいた自立活動の授業作り

高等部の研究テーマ

課題別学習における社会性を向上させる授業について